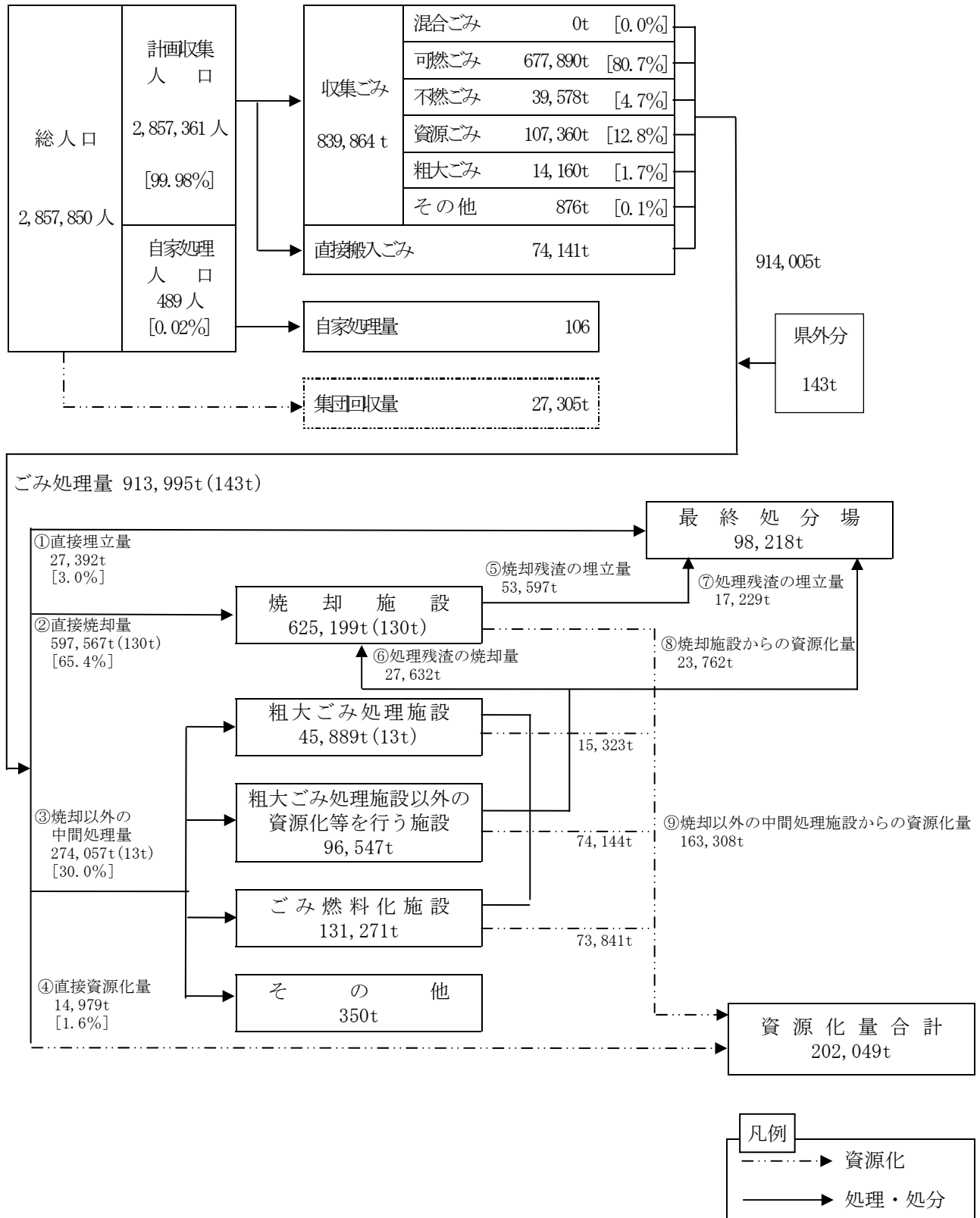


# Ⅱ ご み



# 1 概要

平成 22 年度におけるごみ処理フローシートは、図 2-1 のとおりである。



(注) 県外分とは、愛媛県今治市からの受託分であり、( )内の量は県外分の内数である。  
計量値の差や水分の蒸発などの理由により、排出量と処理量は一致しない。

図 2-1 ごみ処理フローシート

## 2 処理人口、分別状況及び収集処理手数料

### (1) 処理人口

ごみ処理人口の推移は、表2-1及び図2-2のとおりである。自家処理人口は、平成18年度以降ほぼ横ばいで推移している。

表2-1 ごみ処理人口の推移

(単位：人)

区 分 年 度	計画収集人口 (A)	自家処理人口 (B)	計画処理区域内人口 (A+B)
18	2,871,789	595	2,872,384
19	2,868,419	580	2,868,999
20	2,863,651	589	2,864,240
21	2,860,449	537	2,860,986
22	2,857,361	489	2,857,850

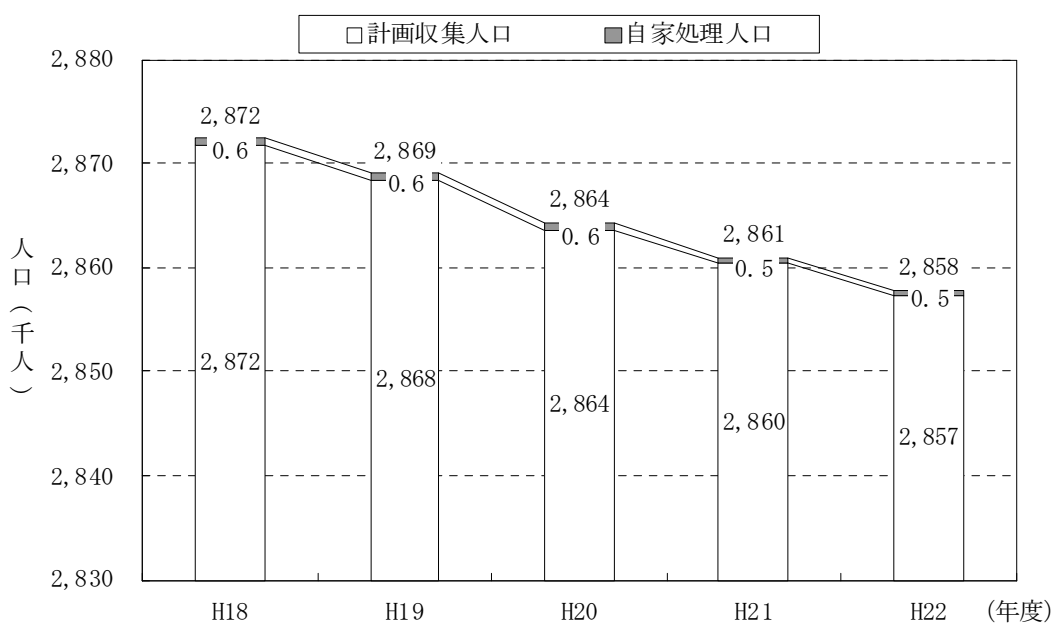
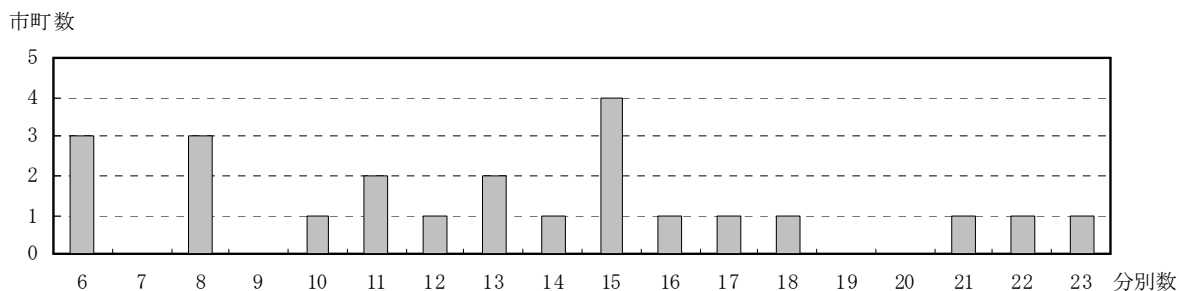


図2-2 ごみ処理人口の推移

### (2) 分別状況

各市町におけるごみの分別収集の状況は、図2-3のとおりである。可燃、不燃、資源、粗大などと大きく分類した6種類分別から、資源ごみを容器包装リサイクル法対象品目などに細分類した23種類分別となっている。

ごみの資源化を促進するため、分別収集の取組が進められている。



(注) 分別数は、排出者がごみを排出する際に分ける必要のある数を計上している。例えば、資源ごみとして缶、びん、ペットボトルを分けて収集している場合、資源ごみの分別数は3を計上する。

図2-3 各市町における分別収集の状況

### (3) 収集処理手数料

各市町の生活系ごみ収集処理の有料化状況は、表2-2のとおりである。

平成22年度末の時点で生活系ごみの収集処理を有料化している市町は、23市町のうち、可燃ごみが11市町、不燃ごみが8市町、粗大ごみが10市町である。また、排出者が直接搬入する生活系ごみについては、可燃ごみが7市町、不燃ごみが6市町、粗大ごみが9市町である。

事業系ごみについては、多くの場合、収集許可業者が排出者から収集して処理施設に搬入する形態であるが、許可業者が処理施設に搬入する際に市町が手数料を徴収する場合も含め、事業系ごみの処理を有料化している市町は、可燃ごみが20市町、不燃ごみが16市町、粗大ごみが14市町である。

表2-2 市町のごみ収集処理の有料化状況

(単位：市町)

区分		可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ (紙類の状況)	粗大ごみ	その他	
有料化市町数	生活系	収集ごみ	11	8	3	10	4
		直接搬入	7	6	3	9	4
	事業系	収集ごみ	20	16	10	14	10
		直接搬入	23	19	13	19	10

- (注) 1 有料化とは、市町等がごみ収集処理についての手数料を徴収する行為を指す。なお、手数料を上乗せせずに販売される一定規格のごみ袋(指定袋)の使用を排出者に依頼する場合には、有料化に該当しない。
- 2 直接搬入とは、排出者が直接処理施設に持ち込む場合を指す。
- 3 事業系ごみについて、収集許可業者が処理施設に搬入する際に市町等が手数料を徴収する場合は、収集ごみの有料化として取扱う。
- 4 有料化でない市町については、手数料を徴収しない場合と、市町において当該区分を収集しない場合がある。

市町別計画処理区域内人口、ごみの分別、収集運搬及び手数料の状況は、IV資料編の資料一表7及び表8に示すとおりである。

### 3 排出量

#### (1) 収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量

収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量の推移は、表2-3のとおりである。

表2-3 収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量の推移

(単位：t/年)

区分 年度	収集形態別収集量				直接搬入 ごみ	排出量 合計	自家 処理量	自家処理量を 含めた排出量
	直 営	委 託	許 可	計				
18	263,344	361,963	314,563	939,870	109,888	1,049,758	117	1,049,875
19	243,931	361,643	307,243	912,817	86,656	999,473	122	999,595
20	229,735	354,097	292,438	876,270	76,821	953,091	192	953,283
21	221,754	351,894	285,177	858,825	77,571	936,396	543	936,939
22	204,292	348,553	287,019	839,864	74,141	914,005	106	914,111

(注) 県外分は含まない。

#### (2) 1人1日当たりのごみ排出量

1人1日当たりのごみ排出量の推移は、表2-4及び図2-4のとおりである。1人1日当たりのごみ排出量は、平成13年度以降継続的に減少している。また、全国平均と比較しても低い値となっている。

表2-4 1人1日当たりのごみ排出量の推移

(単位：g/人・日)

年 度	18	19	20	21	22	全国平均 (平成21年度)
1人1日平均排出量	1,001	952	912	897	876	935

(注) 1人1日当たりの排出量 = (排出量 (g)) / (計画収集人口 × 365 又は 366 日)

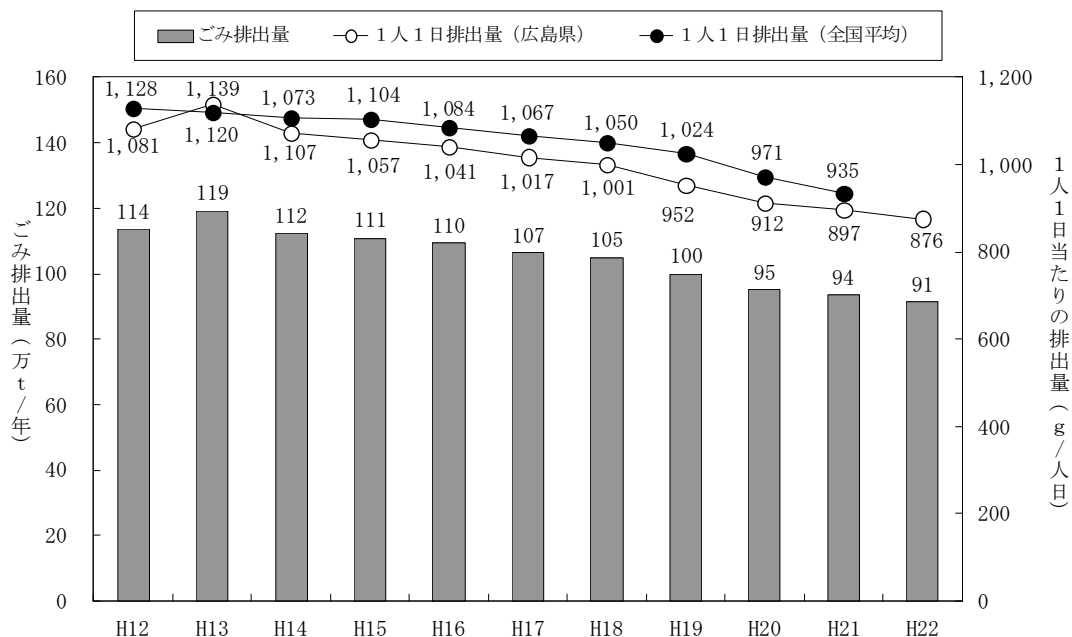


図2-4 ごみ排出量と1人1日当たりの排出量の推移 (年度)

### (3) 生活系及び事業系ごみの排出量

生活系及び事業系ごみの排出量の推移は、表2-5のとおりである。平成22年度は前年度と比べ、生活系ごみは3.6%減少し、事業系ごみは横ばいで昨年とほぼ同じ値となっている。

表2-5 生活系及び事業系ごみの排出量の推移

(単位：t/年)

年 度	18	19	20	21	22
生活系ごみ	666,516	628,704	607,683	603,493	581,838
事業系ごみ	383,242	370,769	345,408	332,903	332,167
合計(排出量)	1,049,758	999,473	953,091	936,396	914,005

(注) 県外分は含まない。

### (4) 集団回収量

生活系ごみのうち、古紙類、空き缶など直接資源化が可能なものについては、市町等によるごみ収集処理を経ずに、自治会などの住民団体による集団回収により収集され、資源化されている。

平成22年度における集団回収量(集団回収のうち、市町等が関与し把握しているものの量をいう。以下同じ。)は、27,305tであり、集団回収量を加味したごみの排出量は、941,310t(1人1日当たり902g)である。

集団回収量及び集団回収量を加味した排出量の推移は、表2-6のとおりである。

表2-6 集団回収量及び集団回収量を加味した排出量の推移

(単位：t/年)

年 度	18	19	20	21	22
集団回収量	28,541	28,403	28,264	27,248	27,305
集団回収量を 加味した排出量	1,078,299	1,027,876	981,355	963,644	941,310
生活系	695,057	657,107	635,947	630,741	609,143
事業系	383,242	370,769	345,408	332,903	332,167
集団回収量を加味した 1人1日あたりの排出量 (g/人・日)	1,028	979	939	923	902

(注) 1 集団回収量は、市町等が関与し回収量を把握しているものについて計上している。

2 集団回収量を加味した排出量 = (収集量) + (直接搬入量) + (集団回収量)

3 生活系・事業系の内訳において、集団回収量は生活系として計上した。

※ 国が公表する全国集計では、平成17年度分の公表時から、集団回収量を加味した排出量を「ごみ総排出量」と位置づけている。

市町別の収集量、直接搬入ごみ量、自家処理量、集団回収量及び収集形態別収集量は、IV資料編の資料一表9及び表10に示すとおりである。

## 4 処理量

### (1) 処理量の推移

平成 22 年度における県内のごみ処理量は 913,995 t（愛媛県今治市からの受託分 143t を含む。）で、その内訳は、直接埋立量が 27,392t（3.0%）、直接焼却量が 597,567t（65.4%）、焼却以外の中間処理量が 274,057t（30.0%）、直接資源化量が 14,979t（1.6%）である。以上の処理量の推移は、表 2-7 及び図 2-5 のとおりである。

表 2-7 ごみ処理量の推移

（単位：t/年）

年 度	直接埋立量	直接焼却量	焼却以外の中間処理量	直接資源化量	合 計
18	47,199	673,114	313,484	16,204	1,050,001
19	36,325	648,262	299,689	15,448	999,724
20	32,986	624,956	280,166	15,124	953,232
21	36,876	611,092	273,807	14,766	936,541
22	27,392	597,567	274,057	14,979	913,995

- (注) 1 数値には県外からの受託分を含む。  
 2 可燃ごみを焼却施設へ運搬するために圧縮処理するものは、直接焼却量に含む。

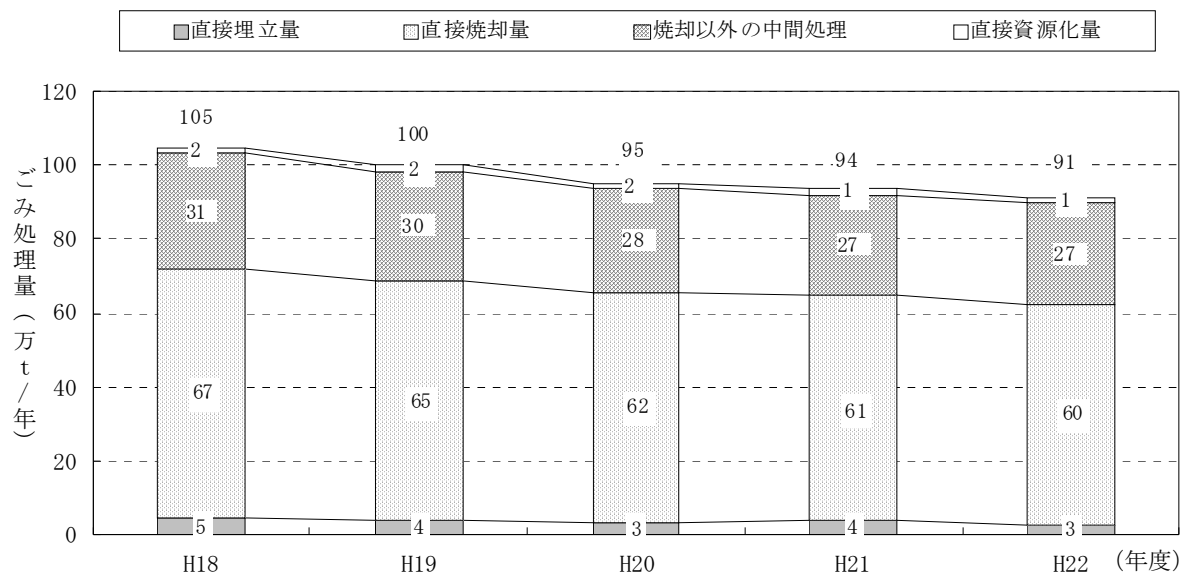


図2-5 ごみ処理量の推移



## (2) 処理方法別の処理量の推移

ごみ処理量を埋立量、焼却量、資源化量の3種類に分類した場合の量の推移は、表2-8のとおりである。

直接埋立を行っていたごみの分別資源化による減量化、可燃ごみの燃料化処理や焼却残渣の熔融処理、セメント原料化等による資源化などにより、埋立量は大幅に減少している。平成21年度に直接埋立量が増加した要因は、江田島市での災害によるものである。

また、焼却量についても、可燃ごみの燃料化処理の本格的な稼働により、平成16年度以降、大幅に減少している。

市町別の処理方法別の処理量は、IV資料編の資料一表11に示すとおりである。

表2-8 埋立量、焼却量及び資源化量の推移

(単位：t/年)

区 分 \ 年 度		18	19	20	21	22
埋立量	①直接埋立量	47,199	36,325	32,986	36,876	27,392
	⑤焼却残渣の埋立量	58,723	65,781	55,880	53,836	53,597
	⑦処理残渣の埋立量	28,503	21,147	20,858	20,155	17,229
	合 計	134,425	123,253	109,724	110,867	98,218
焼却量	②直接焼却量	673,114	648,262	624,956	611,092	597,567
	⑥処理残渣の焼却量	31,227	31,075	28,565	27,429	27,632
	合 計	704,341	679,337	653,521	638,521	625,199
資源化量	④直接資源化量	16,204	15,448	15,124	14,766	14,979
	⑧焼却施設からの資源化量	18,548	18,685	20,456	24,145	23,762
	⑨焼却以外の中間処理施設からの資源化量	185,777	182,416	168,166	164,476	163,308
	合 計	220,529	216,549	203,746	203,387	202,049

(注) 1 県外からの受託分を含む。

2 区分欄の番号は、7ページのごみ処理フローシートの番号と同一である。

## 5 ごみ処理施設の整備状況と処理実績

### (1) 施設整備状況

本県におけるごみ処理施設の整備状況は、表2-9のとおりである。

平成22年度中に稼働実績がある焼却施設は、全部で26施設あり、固定火格子バッチ燃焼式が1施設、機械化バッチ燃焼式が7施設、准連続燃焼式が8施設、全連続燃焼式が10施設ある。資源化等を行う施設は27施設、粗大ごみ処理施設は14施設、燃料化処理施設は7施設、保管施設は34施設ある。

表2-9 ごみ処理施設の施設数及び処理能力の推移

区 分		年 度				
		18	19	20	21	22
焼 却 施 設	固定バッチ式 (施設数)	1	1	1	1	1
	能力 (t/日)	26	26	26	26	26
	機械化バッチ式 (施設数)	7	7	7	7	7
	能力 (t/日)	164	164	164	164	164
	准連続式 (施設数)	8	8	8	8	8
	能力 (t/日)	584	584	604	604	604
	全連続式 (施設数)	11	11	10	10	10
	能力 (t/日)	2,395	2,395	2,195	2,120	2,195
	計 (施設数)	27	27	26	26	26
	能力 (t/日)	3,169	3,169	2,989	2,914	2,989
資源化等を行う施設 (施設数)	32	29	30	29	27	
能力 (t/日)	628	612	635	620	589	
粗大ごみ処理施設 (施設数)	14	14	14	14	14	
能力 (t/日)	401	401	401	401	399	
燃料化処理施設 (施設数)	7	7	7	7	7	
能力 (t/日)	550	550	550	550	550	
保管施設 (施設数)	30	32	34	35	34	
能力 (m <sup>2</sup> )	12,976	13,878	14,353	14,542	15,637	
合 計 (施設数)	110	109	111	111	108	
能力 (t/日)	4,748	4,732	4,575	4,485	4,527	
能力 (m <sup>2</sup> )	12,976	13,878	14,353	14,542	15,637	

(注) 1 各年度中に稼働実績がある施設を計上している。

2 焼却施設の区分は次のとおりである。

- ・ 固定バッチ式 … 固定された火格子により間欠焼却を行う方式で、1日8時間稼働。
- ・ 機械化バッチ式 … 固定バッチの一部を機械化し間欠焼却を行う方式で、1日8時間稼働。
- ・ 准連続式 … 連続焼却を行う方式で、1日16時間稼働。
- ・ 全連続式 … 連続焼却を行う方式で、24時間連続稼働。

※ 連続焼却方式：ごみの供給、移動・攪拌、焼却灰の排出等が連続的に機械装置で運転管理できる施設。

### (2) 処理実績

本県におけるごみ処理施設（焼却施設・資源化施設・粗大ごみ処理施設・燃料化処理施設・保管施設）の位置図は、図2-6から図2-8、処理実績等の一覧表は、表2-10から表2-14のとおりである。

【凡 例】

○ 1 ~ ○ 26 : 施設番号 (焼却施設)

□ 1 ~ □ 7 : 施設番号 (燃料化处理施設)

■ 組合名 : 一部事務組合構成区域

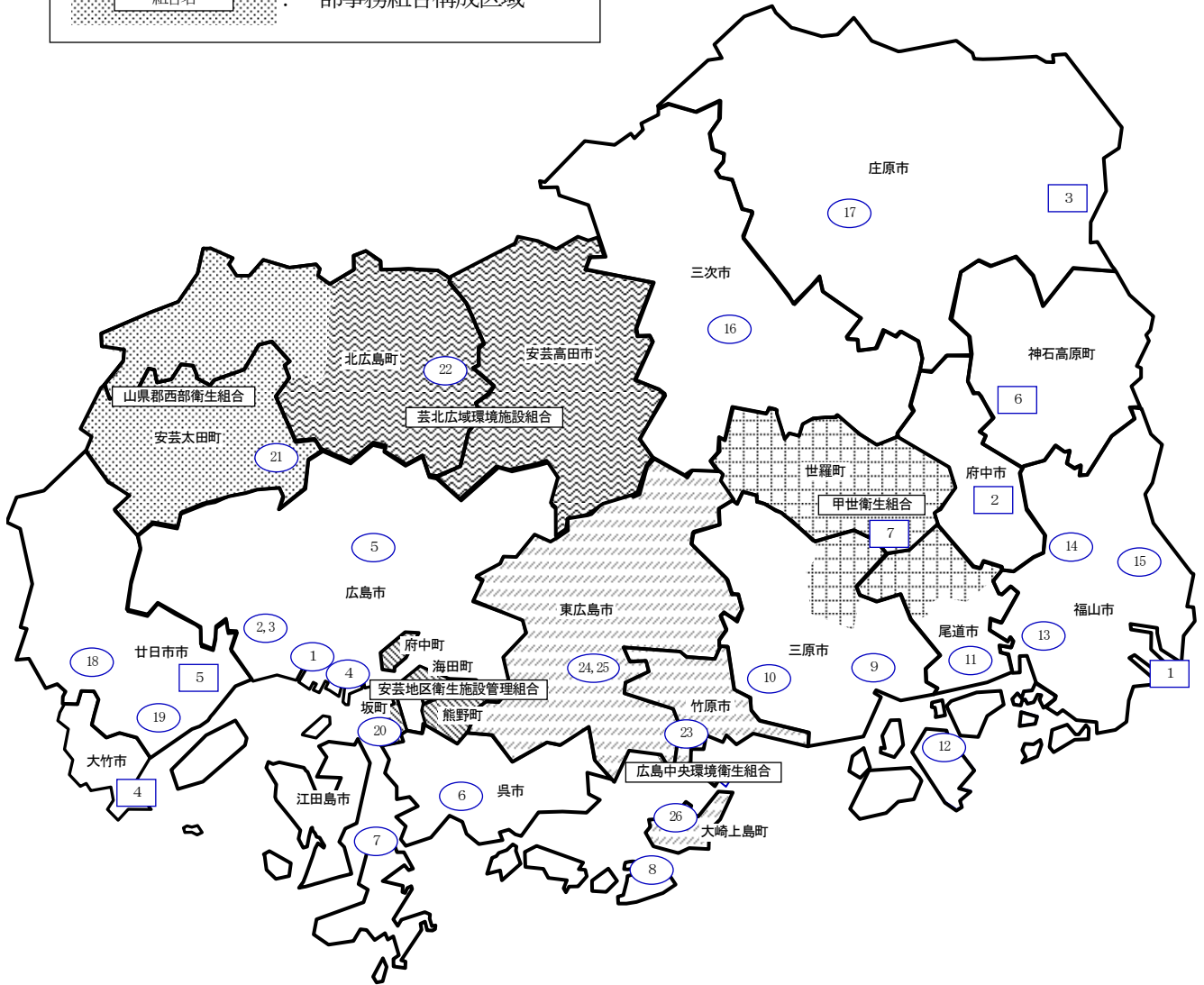


図 2 - 6 焼却施設及び燃料化处理施設の位置図  
(平成 22 年度末現在)

【凡 例】

○ 1 ~ ○ 27 : 施設番号 (資源化施設)

□ 1 ~ □ 14 : 施設番号 (粗大ごみ処理施設)

■ 組合名 : 一部事務組合構成区域

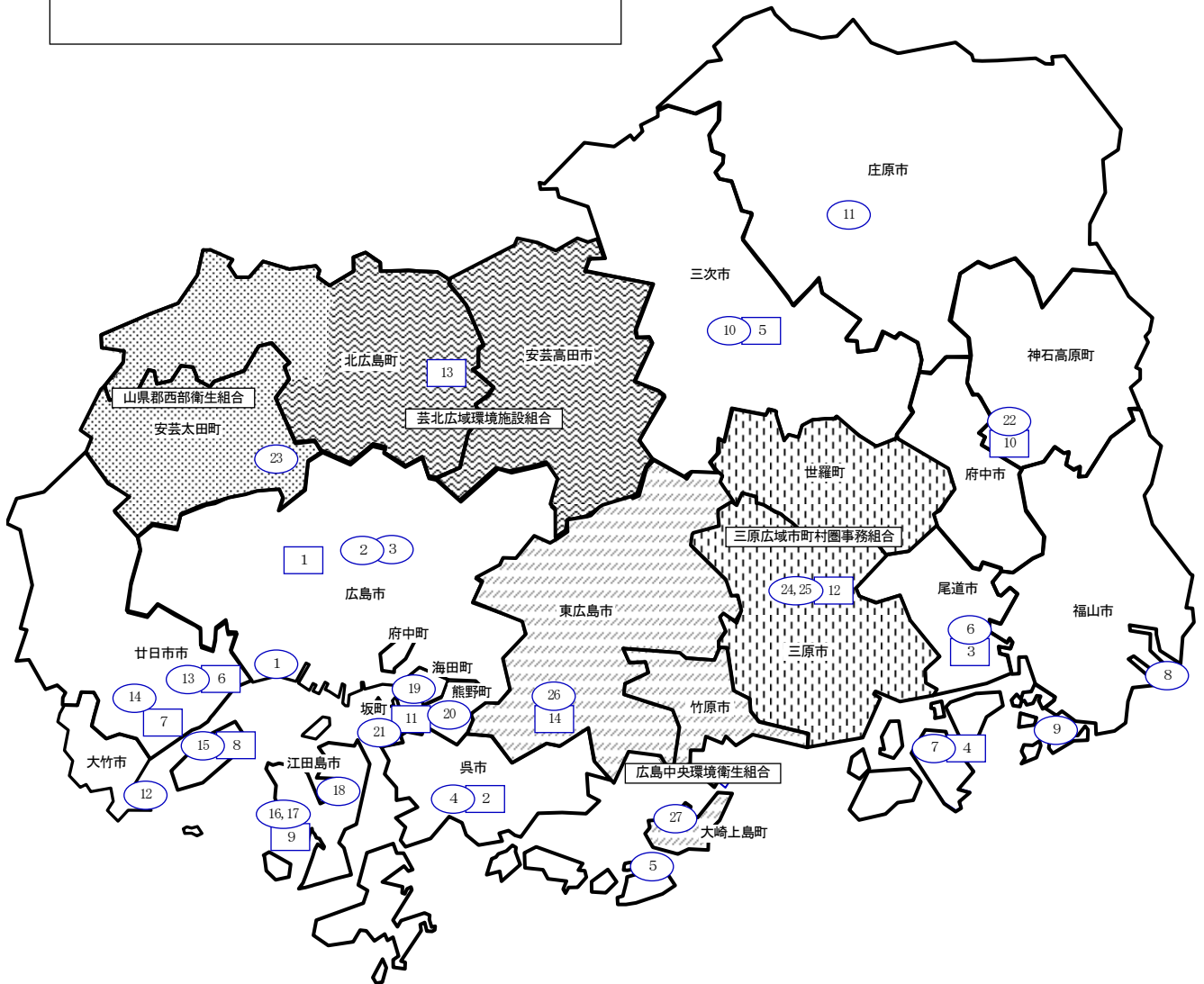


図 2 - 7 資源化施設及び粗大ごみ処理施設の位置図  
(平成 22 年度末現在)

**【凡例】**

○ 1 ~ ○ 34 : 施設番号 (保管施設)

組合名 : 一部事務組合構成区域

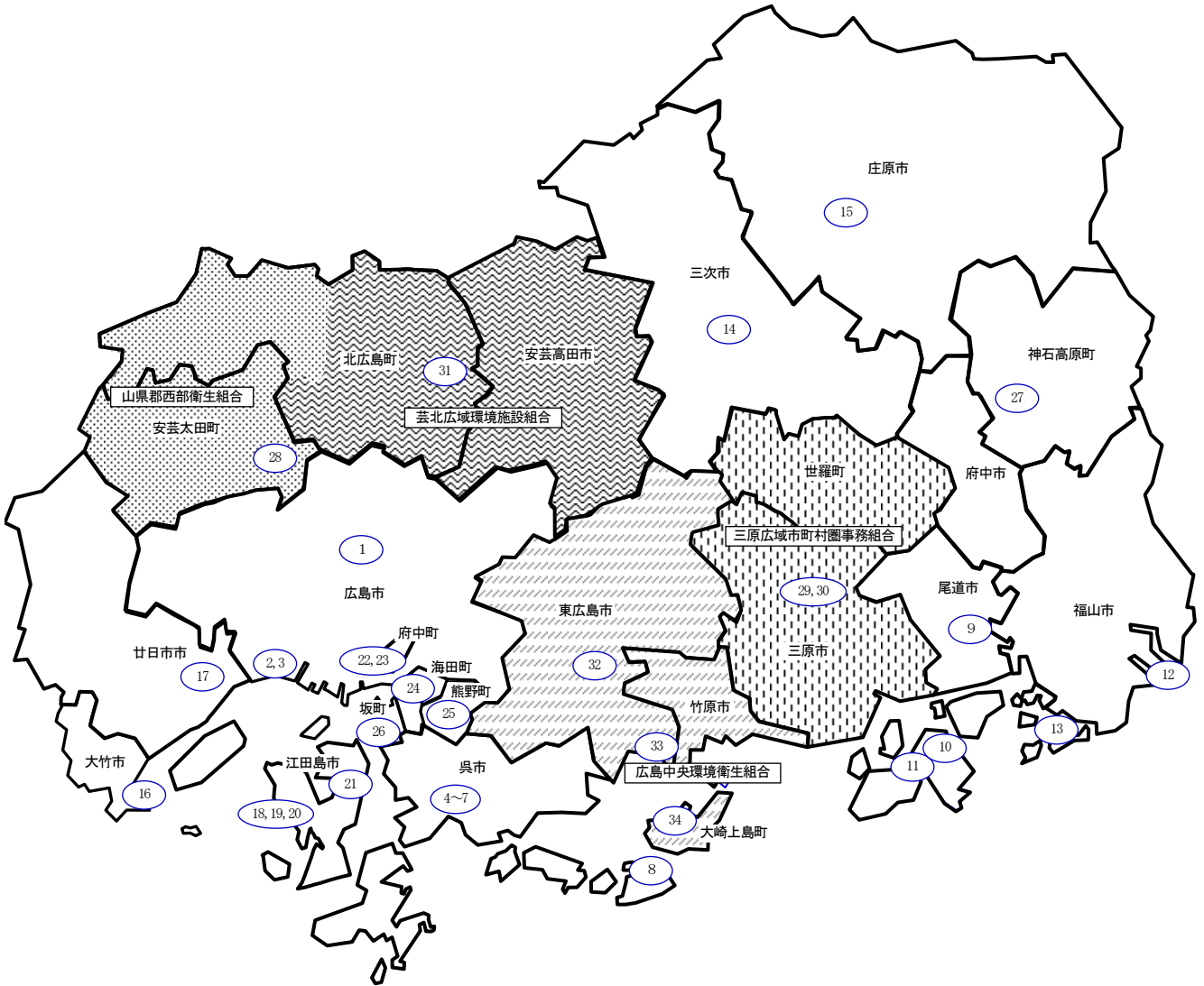


図 2 - 8 保管施設の位置図  
(平成 22 年度末現在)

表2-10 焼却施設及び処理実績等一覧表

施設番号	処理方式	市 町 事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度	処 理 対 象						
						混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	処理残さ	その他
1	全	広島市	広島市中区南吉島一丁目4-2	広島市中工場	2003		○				○	
2	全	広島市	広島市佐伯区五日市町石内1979	広島市佐伯工場（1系）	1980		○					
3	全	広島市	広島市佐伯区五日市町石内1979	広島市佐伯工場（2・3系）	1984		○					
4	全	広島市	広島市南区東雲三丁目17-1	広島市南工場	1988		○				○	
5	全	広島市	広島市安佐北区可部町中島1460-1	広島市安佐北工場	1990		○				○	
6	全	呉市	呉市多賀谷三丁目9-2	クリーンセンターくれ（第3工場）	2002		○					
7	機	呉市	呉市音戸町渡子一丁目5-25	日附環境美化センター	1995		○					
8	機	呉市	呉市豊町大長6329-1	芸予環境衛生センター（ごみ処理施設）	1997		○		○	○		
9	准	三原市	三原市八坂町227	三原市清掃工場	1999		○			○		
10	固	三原市	三原市本郷町本郷543-1	三原市本郷清掃工場	1993		○			○		
11	准	尾道市	尾道市長者原一丁目220-75	尾道市クリーンセンター	1994		○				○	
12	准	尾道市	尾道市重井町5334	尾道市因瀬クリーンセンター	1990		○				○	
13	全	福山市	福山市赤坂町赤阪521	福山市新西部清掃工場	1980		○					
14	機	福山市	福山市新市町下安井3328-6	福山市新市クリーンセンター	1994		○					
15	准	福山市	福山市神辺町上御領3000-7	福山市深品クリーンセンター	1994		○			○		
16	准	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996		○				○	
17	機	庄原市	庄原市一木町境ヶ谷266-2	庄原市備北クリーンセンター	2001		○				○	
18	機	廿日市市	廿日市市浅原甲524	廿日市市佐伯クリーンセンター	1999		○					
19	准	廿日市市	廿日市市大野1815-24	廿日市市大野清掃センター	1997		○					
20	全	安芸地区	坂町1322-8	安芸クリーンセンター	2002		○			○	○	
21	機	山県郡西部	安芸太田町大字穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996		○				○	
22	准	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター 可燃ごみ処理施設	1995		○				○	
23	准	広島中央	竹原市吉名町山租2654	竹原安芸津環境センター	1991		○			○	○	
24	全	広島中央	東広島市西条町上三永766-1	賀茂環境衛生センター （1号炉，2号炉）	1985		○			○	○	
25	全	広島中央	東広島市西条町上三永766-1	賀茂環境衛生センター （3号炉）	2001		○			○	○	
26	機	広島中央	大崎上島町大串19-1	大崎上島環境センター	1991		○				○	
(注) 1. 処理方式 「固」固定バッチ，「機」機械化バッチ，「准」准連続，「全」全連続 2. 施設改廃等 「建設」建設中，「変無」能力変更なし，「能変」能力変更あり											固	1施設
											機	7施設
											准	8施設
											全	10施設
											計	26施設

公称能力 (t/日)	基数 (基)	年間処理量 (t/年度)	余熱利用の状況	資源化量 (t/年度)	発電能力 (kW)	発電効率 (公称) (%)	総発電量 (MWh)	灰処理設備		施設改廃等	運転管理体制
								焼却 灰	飛 灰		
600	3	156,666	場内温水 場内蒸気 場外温水 発電(場 内利用, 場外利用)	8,118	15,200	15	63,308	熔融処理 その他	熔融処理 その他	変無	委託
45	1	3,482	利用無し					無し	薬剤処理	変無	委託
90	2	18,970	場内温水					無し	薬剤処理	変無	委託
300	2	58,323	場内温水 場内蒸気 場外温水 発電(場 内利用, 場外利用)		1,400	4	9,572	薬剤処理	薬剤処理	変無	委託
200	2	52,501	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用, 場 外利用)		1,100	4	5,777	無し	薬剤処理	変無	委託
380	3	76,137	場内温水 場外温水 発電(場内利用, 場 外利用)	580	7,000	17	31,364	熔融処理	セメント固 化 薬剤処理	変無	委託
31	2	4,565	場内温水					無し	薬剤処理	変無	直営
7	1	1,143	利用無し					無し	薬剤処理	変無	直営
120	2	30,420	場内温水					その他	セメント固 化 薬剤処理	変無	一部委託
26	2	3,350	利用無し					無し	薬剤処理	変無	委託
120	2	32,631	場内温水 場外温水					薬剤処理	セメント固 化 薬剤処理	変無	委託
50	2	9,611	場内温水 場外温水					薬剤処理	薬剤処理	変無	直営
150	2	23,672	利用無し					無し	薬剤処理	変無	一部委託
30	2	4,609	利用無し					無し	薬剤処理	変無	一部委託
80	2	18,356	場内温水					薬剤処理	薬剤処理	変無	委託
60	2	11,415	場内温水					無し	薬剤処理	変無	委託
40	2	6,085	利用無し					無し	薬剤処理	変無	直営
15	2	2,223	場内温水 場内蒸気					無し	薬剤処理	変無	委託
60	2	8,113	場内温水 場内蒸気					無し	セメント固 化 薬剤処理	変無	委託
130	2	31,955	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用)	1,785	1,300	13	7,978	その他	無し	変無	委託
26	2	1,802	利用無し					無し	薬剤処理	変無	直営
44	2	10,345	場外温水	1,470				無し	セメント固 化 薬剤処理	変無	一部委託
70	2	9,296	場内温水 その他					無し	セメント固 化	変無	委託
150	2	14,556	利用無し					無し	薬剤処理	変無	委託
150	1	39,744	場内温水					無し	薬剤処理	変無	委託
15	2	1,885	場内温水					無し	薬剤処理	変無	直営
26	2	3,350		0	0		0				
164	13	22,312		0	0		0				
604	16	130,187		1,470	0		0				
2,195	20	476,006		10,483	26,000		117,999				
2,989	51	631,855		11,953	26,000		117,999				

表 2-11 資源化を行う施設及び処理実績等一覧表

施設番号	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-2	広島市西部リサイクルプラザ	1997
2	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	広島市北部資源選別センター	1990
3	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬2030	広島市植木せん定枝リサイクルセンター	1999
4	呉市	呉市広多賀谷三丁目9	呉市資源化施設	1998
5	呉市	呉市豊町大長6329-1	芸予環境衛生センター	1997
6	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-11	尾道市ストックヤードPET減容施設	1999
7	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
8	福山市	福山市箕沖町107-2	福山クリーンセンター(リサイクル工場)	2000
9	福山市	福山市内海町新道644-1	福山市内海リサイクルセンター	1996
10	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	2000
11	庄原市	庄原市是松町20-25	庄原市リサイクルプラザ	2005
12	大竹市	大竹市東栄三丁目4	大竹市不燃物処理資源化施設	1989
13	廿日市市	廿日市市宮内3860	はつかいちリサイクルプラザ	2001
14	廿日市市	廿日市市浅原甲524	廿日市市佐伯不燃物処理作業場	2006
15	廿日市市	廿日市市宮島町1171-4	廿日市市宮島不燃物処理施設	1980
16	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(ビン・缶)	1998
17	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(ペットボトル)	2002
18	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市リレーセンター(可燃ごみ)	2002
19	海田町	海田町国信二丁目18-1	海田町環境センター	1988
20	熊野町	熊野町中溝一丁目1-1	熊野町エコステーション	2001
21	坂町	坂町2430	リサイクルセンター坂	2004
22	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせきストックヤード	2006
23	山県郡西部	安芸太田町加計穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996
24	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	再資源選別処理場	1993
25	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	廃棄物再生利用施設(プラスチック圧縮梱包施設)	2006
26	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(ペットボトル等処理施設)	2006
27	広島中央	大崎上島町大串19-1	大崎上島環境センター	1991

(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり

表 2-12 粗大ごみ処理施設及び処理実績等一覧表

施設番号	種類	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	破	広島市	広島市安佐南区沼田町伴3990	広島市安佐南工場大型ごみ破碎処理施設	1992
2	併	呉市	呉市多賀谷三丁目9-2	クリーンセンターくれ(ごみ破碎選別施設)	2002
3	併	尾道市	尾道市長者原一丁目220-75	尾道市クリーンセンター	1994
4	併	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
5	併	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996
6	破	廿日市市	廿日市市宮内3860	廿日市市粗大ごみ処理施設	1990
7	併	廿日市市	廿日市市大野1815-24	廿日市市大野清掃センター	1997
8	破	廿日市市	廿日市市宮島町1171-4	廿日市市宮島粗大ごみ処理施設	1999
9	破	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(粗大)	1998
10	破	神石高原町	神石高原町階見1254-1	粗大ごみ処理施設	2010
11	破	安芸地区	坂町1322-8	安芸クリーンセンター	2002
12	圧	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	不燃物処理工場	2010
13	併	芸北広域	北広島町川井津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター 粗大ごみ処理施設	1996
14	併	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(粗大ごみ処理施設)	1990

(注) 1. 種類  
「破」は破碎, 「圧」は圧縮, 「併」は併用施設  
2. 施設改廃等  
「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり



処 理 対 象					公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	資 源 回 収 量 (t/年度)	処 理 内 容				施 設 改 磨 等	運 転 管 理 体 制	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他				選 別	圧 縮 梱 包	堆 肥 化	そ の 他			
		○		○	90.0	19,128	14,560	○	○			変無	委託	
		○		○	50.0	10,703	7,581	○	○			変無	委託	
				○	25.0	861	857			○		変無	委託	
		○			4.0	8,316	8,156	○	○			変無	委託	
		○			0.2	165	165	○	○			変無	直営	
		○			7.0	225	199	○	○			変無	直営	
		○			4.0	314	314	○	○			変無	一部委託	
	○	○	○		170.0	12,198	6,019	○	○			変無	一部委託	
	○	○	○		1.6	257	150	○	○			変無	委託	
		○			7.0	770	770	○	○			変無	委託	
	○	○	○		15.0	2,002	1,444	○	○		○	変無	委託	
	○	○	○		11.0	2,310	1,818	○	○			変無	直営	
		○			24.0	2,385	2,372	○	○			変無	委託	
		○			3.0	332	332	○	○			変無	委託	
	○	○			25.0	19	19	○	○			変無	委託	
		○			7.0	412	315	○	○			変無	委託	
		○			0.35	55	53		○			変無	委託	
○					45.0	7,175	7,175		○			変無	委託	可燃ごみ圧縮施設
		○			10.0	118	118	○	○			変無	直営	
		○			2.0	18	18				○	変無	直営	
		○			4.0	518	518	○	○			変無	委託	
		○			8.0	22	22		○			変無	委託	
○	○	○	○		9.0	592	580	○	○			変無	直営	
	○	○	○		30.0	2,916	2,916	○				変無	委託	
		○			11.0	667	667	○	○			変無	委託	
		○			22.0	1,825	1,091	○	○			変無	委託	
	○	○		○	4.0	281	121	○				変無	一部委託	
計 27施設					589.2	72,478	57,138							

処 理 対 象					公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	資 源 回 収 量 (t/年度)	施 設 改 磨 等	運 転 管 理 体 制	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他						
			○		100.0	9,214	1,419	変無	委託	
	○		○		55.0	10,177	1,462	変無	委託	
	○	○	○		35.0	5,764	671	変無	委託	
		○	○		14.0	527	222	変無	一部委託	
	○	○	○	○	22.0	2,441	1,168	変無	委託	
			○		35.0	1,366	347	変無	委託	
	○		○		13.0	366	134	変無	委託	
			○		4.0	31	11	変無	委託	
			○		8.0	1,157	215	変無	委託	
	○		○		3.2	33	6	新設	委託	
			○		6.0	1,546	0	変無	委託	
	○	○	○		50.0	849	849	変無	委託	
	○		○		14.0	1,245	788	変無	直営	
	○	○	○	○	40.0	4,574	2,044	変無	委託	
破碎 6施設					156.2	13,314	1,992			
圧縮 1施設					50.0	849	849			
併用 7施設					193.0	25,094	6,489			
計 14施設					399.2	39,257	9,330			

表 2-13 燃料化処理施設及び処理実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	福山市	福山市箕沖町107-7	福山市ごみ固形燃料工場	2004
2	府中市	府中市鶴飼町74-2	府中市クリーンセンター	2002
3	庄原市	庄原市東城町久代6671-2	庄原市東城クリーンセンターごみ固形燃料化施設	2002
4	大竹市	大竹市東栄3-3	大竹市ごみ固形燃料化施設	2003
5	廿日市市	廿日市市宮内3860	エコセンターはつかいち	2004
6	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせき	2002
7	甲世衛生	世羅町川尻781-19	エコワイズセンター	1998

(注) 施設改廃等：「建設」建設中、「変無」能力変更なし、「能変」能力変更あり

表 2-14 保管施設及び保管実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度
1	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	広島市北部資源選別センター	1990
2	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-2	広島市西部リサイクルプラザ	1997
3	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-1	広島市資源ごみ選別施設	1998
4	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市缶類資源化施設	2000
5	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市紙類ストックヤード	2000
6	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市ペットボトルストックヤード	2000
7	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市カレットストックヤード	1998
8	呉市	呉市豊町大長3629-1	芸予環境衛生センター（ストックヤード）	2002
9	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-1	尾道市ストックヤード減容施設	1999
10	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996
11	尾道市	尾道市因島重井町5334	尾道市因瀬クリーンセンター	1990
12	福山市	福山市箕沖町107-2	福山クリーンセンター（リサイクル工場）	2000
13	福山市	福山市内海町662	福山市内海最終処分場（保管施設）	2001
14	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996
15	庄原市	庄原市是松町20-25	庄原市リサイクルプラザ	2005
16	大竹市	大竹市東栄三丁目4	大竹市不燃物処理場	1989
17	廿日市市	廿日市市宮内3860	はつかいちリサイクルプラザ	2001
18	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（カレット）	1998
19	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（ペットボトル）	2002
20	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター（鉄・アルミ缶）	2002
21	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市環境リレーセンター（ストックヤード）	2009
22	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町環境センター	1981
23	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町リサイクルセンター	1999
24	海田町	海田町国信二丁目18-1	海田町環境センター	1988
25	熊野町	熊野町深原平2682-73	熊野町環境センターストックヤード	2006
26	坂町	坂町2430	リサイクルセンター坂	2004
27	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせきストックヤード	2006
28	山県郡西部	安芸太田町大字穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996
29	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	不燃物処理工場	1974
30	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	廃棄物再生利用施設（プラスチック圧縮梱包施設）	2006
31	芸北広域	北広島町川井宇津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター スtockヤード施設	2002
32	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター	1990
33	広島中央	東広島市安芸津町木谷1620-1	竹原安芸津最終処分場	1995
34	広島中央	大崎上島町沖浦106-10	沖浦古紙ストックヤード	2006

(注) 施設改廃等：「建設」建設中、「変無」能力変更なし、「能変」能力変更あり

処 理 対 象						供 給 先 状 況	公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	燃 料 製 造 量 (t/年度)	施 設 改 廢 等	運 轉 管 理 体 制	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他	処 理 残 さ							
○					○	発電用	300.0	91,929	50,758	変無	一部委託	
○			○			発電用	60.0	7,547	3,468	変無	委託	
○						発電用	19.0	1,629	820	変無	直営	
○					○	発電用	42.0	7,124	3,902	変無	委託	
○					○	発電用	102.0	20,278	12,108	変無	委託	
○						発電用	11.0	1,055	456	変無	委託	
○			○			発電用	16.0	3,432	1,805	変無	直営	
計 7施設							550.0	132,994	73,317			

保 管 対 象						保 管 面 積			年 間 保 管 量 (t/年度)	保 管 分 類 数	施 設 改 廢 等	運 轉 管 理 体 制	備 考
紙	金 属	ガ ラ ス	ペ ッ ト ボ ト ル	プ ラ ス チ ッ ク	そ の 他	屋 内 (㎡)	屋 外 (㎡)	合 計 (㎡)					
○	○	○			○	1,159	0	1,159	10,703	4	変無	委託	
○	○	○			○	1,215	0	1,215	19,128	4	変無	委託	
			○			84	0	84	223	1	変無	委託	
	○					400	0	400	518	2	変無	委託	
○						250	0	250	5,797	4	変無	委託	
			○			200	0	200	396	1	変無	委託	
		○				0	196	196	1,634	3	変無	委託	
○		○				140	2,577	2,717	165	7	変無	直営	
			○			299	1,774	2,073	199	1	変無	直営	
	○	○			○	233	262	495	537	14	変無	一部委託	
○			○			42	111	153	1,238	5	変無	直営	
			○	○		288	0	288	4,649	2	変無	一部委託	
			○	○		36	0	36	27	2	変無	委託	
○	○	○	○	○	○	198	0	198	1,885	8	変無	委託	
○	○	○	○	○		140	0	140	2,002	9	変無	委託	
○	○	○	○	○		0	300	300	1,818	5	変無	直営	
○	○	○	○	○	○	292	0	292	2,372	9	変無	委託	
		○				53	0	53	134	3	変無	委託	
			○			125	0	125	53	1	変無	委託	
	○					40	0	40	215	2	変無	委託	
○					○	180	0	180	1,202	4	変無	委託	
○	○	○			○	72	112	184	1,324	7	変無	直営	
○			○	○		273	0	273	90	3	変無	委託	
○	○	○	○			138	50	188	1,115	4	変無	直営	
○	○	○	○	○	○	574	0	574	1,385	8	変無	委託	
○	○	○	○		○	242	0	242	518	12	変無	一部委託	
	○	○				150	0	150	64	4	変無	委託	
○	○	○	○	○	○	412	0	412	514	6	変無	直営	
	○	○	○		○	189	52	241	2,249	4	変無	委託	
				○		34	0	34	667	1	変無	委託	
○			○	○		105	21	126	129	3	変無	直営	
	○	○			○	212	0	212	2,611	4	変無	委託	
○	○		○	○	○	272	1,428	1,700	1,893	12	変無	一部委託	
○						707	0	707	491	3	変無	一部委託	
計 34施設						8,754	6,883	15,637	67,945				

## 6 最終処分場の整備状況と埋立実績

### (1) 整備状況

市町及び一部事務組合における最終処分場の状況は、表2-15のとおりである。

過去3年間における埋立実績の平均から推計すると、約22年分の残余容量がある。

新たな最終処分場の整備については、住民合意が得られにくいなどの問題により、整備が難しいことから、ごみの減量化及び資源化を一層促進して残余容量の確保を図るとともに、処分場の計画的な整備を行う必要がある。

表2-15 最終処分場の状況

最終処分場数				埋立地面積 (m <sup>2</sup> )	全体容量 (m <sup>3</sup> )	残余容量 (m <sup>3</sup> )	埋立実績 (m <sup>3</sup> /年)	残余年数 (年)
山間	平地	海面	計					
22	5	1	28	954,373	8,982,131	2,503,942	101,675	22

(注) 1 最終処分場の区分は次のとおりである。

- ・山間 … 山間の谷間（空間）を利用した最終処分場。
- ・平地 … 陸上の平地を掘削して設置された最終処分場。
- ・海面 … 水面部に設置された最終処分場のうち、海面埋立のもの。

2 最終処分場の容量の残余年数は、次のとおり算出した。

埋立実績：平成20年度 116,339m<sup>3</sup>、平成21年度 122,336m<sup>3</sup>、平成22年度 101,675m<sup>3</sup>、  
過去3年間の平均埋立量：(116,339m<sup>3</sup> + 122,336m<sup>3</sup> + 101,675m<sup>3</sup>) / 3年 = 113,450m<sup>3</sup>

残余年数：2,503,942m<sup>3</sup> / 113,450m<sup>3</sup> = 22.1年

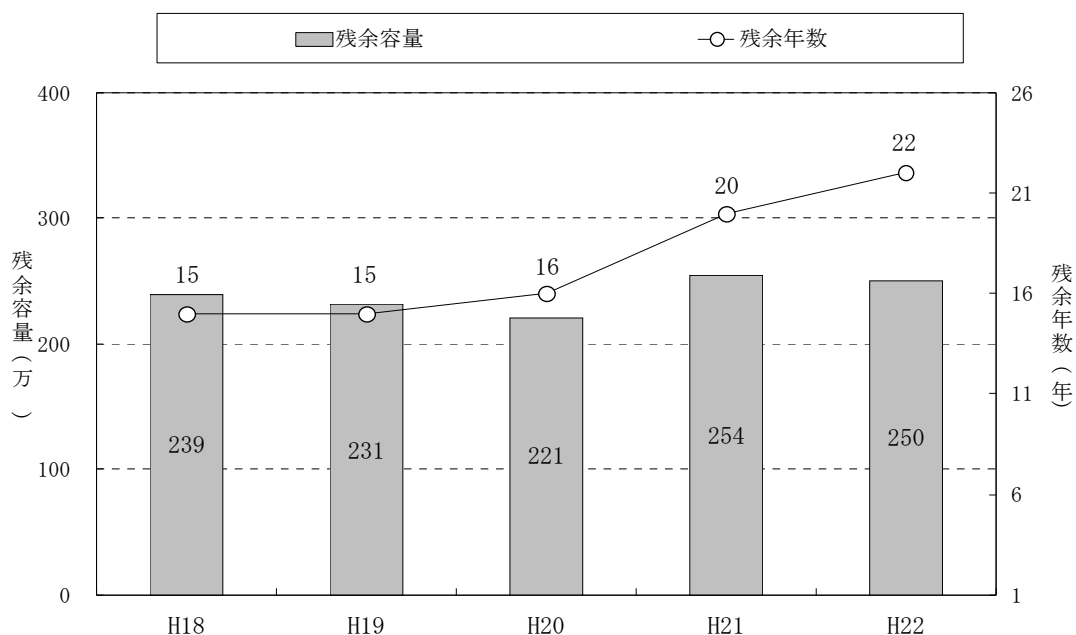


図2-9 残余容量及び残余年数の推移

### (2) 埋立実績

本県における最終処分場の位置図は図2-10、埋立実績等の一覧表は表2-16のとおりである。

【凡 例】

○ 1 ~ ○ 28 : 施設番号 (最終処分場)

● : (財) 環境保全公社の施設

▨ 組合名 : 一部事務組合構成区域

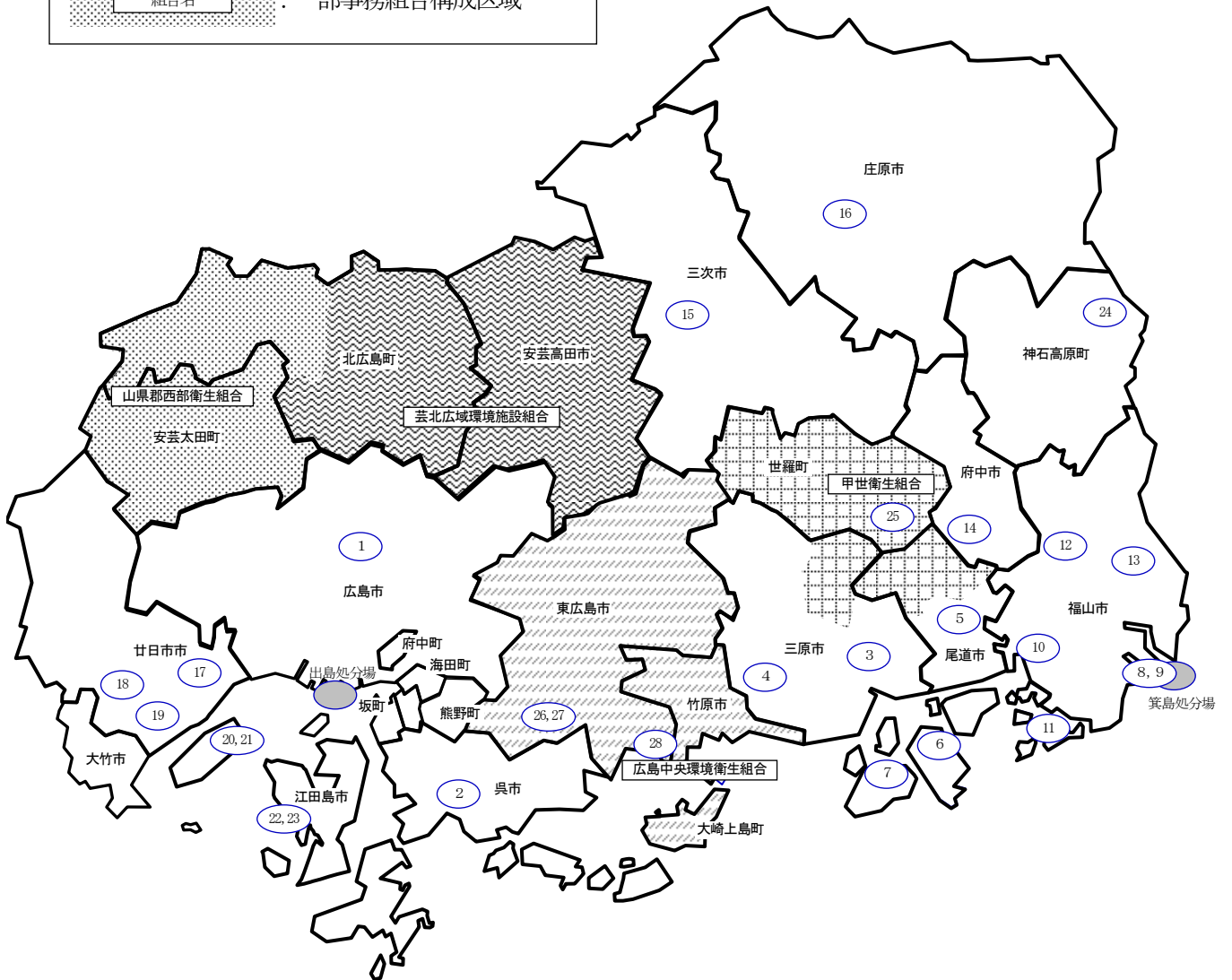


図 2-10 最終処分場の位置図  
(平成 22 年度末現在)

表 2-16 最終処分場及び埋立実績等一覧表

施設番号	埋立場所	市町村 事務組合名	所在地	施設名	埋立 開始年度
1	山間	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬 2 0 3 0	広島市玖谷埋立地	1990
2	海面	呉市	呉市多賀谷地先	呉市埋立処理場	1987
3	山間	三原市	三原市八坂町 2 2 7	三原市一般廃棄物最終処分場	1998
4	山間	三原市	三原市本郷町本郷 3 7 3	三原市本郷一般廃棄物埋立処分場	1989
5	山間	尾道市	尾道市原田町梶山田 1 9 0 9	尾道市最終処分場 (原田町)	2002
6	山間	尾道市	尾道市因島大浜町 1 2 1 7 - 1	尾道市因島一般廃棄物最終処分場	1996
7	山間	尾道市	尾道市瀬戸田町名荷 2 2 2 1	尾道市瀬戸田名荷埋立処分地	1991
8	平地	福山市	福山市箕沖町 1 0 7 - 4	福山市新箕沖埋立地	1989
9	平地	福山市	福山市箕沖町 1 0 7 - 3	福山市箕沖埋立地	1978
10	平地	福山市	福山市柳津町 2 2 8 5	福山市慶応浜埋立地	1981
11	山間	福山市	福山市内海町 6 6 2	福山市内海最終処分場	1994
12	山間	福山市	福山市新市町下安井 3 3 2 8 - 6	福山市新市クリーンセンター最終処分埋立地	1994
13	山間	福山市	福山市神辺町上御領 3 0 0 - 1 3	福山市深品クリーンセンター最終処分場	2000
14	山間	府中市	府中市諸毛町岩後 2 3 1	府中市埋立センター	1989
15	山間	三次市	三次市粟屋町 3 5 0 5	一般廃棄物下荒瀬最終処分場	1993
16	平地	庄原市	庄原市是松町 2 0 - 2 6	庄原市一般廃棄物最終処分場	2005
17	山間	廿日市市	廿日市市宮内 3 8 6 0	廿日市市一般廃棄物最終処分場	1992
18	山間	廿日市市	廿日市市大野 2 7 1 5 - 2	廿日市市佐伯一般廃棄物最終処分場	1994
19	山間	廿日市市	廿日市市大野 1 8 1 4 - 2 2	廿日市市大野一般廃棄物最終処分場	1994
20	山間	廿日市市	廿日市市宮島町包ヶ浦 1 1 5 3 - 1 2	廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場 (現有)	1988
21	山間	廿日市市	廿日市市宮島町包ヶ浦 1 1 5 3 - 1 2	廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場 (新設)	2000
22	山間	江田島市	江田島市沖美町岡大王 718 番地 1	江田島市環境センター (第 1 埋立地)	1983
23	山間	江田島市	江田島市沖美町岡大王 718 番地 1	江田島市環境センター (第 2 埋立地)	1994
24	山間	神石高原町	神石高原町有木 7 1 7 0 - 2	グリーンセンター陽光	2005
25	平地	甲世衛生	世羅町川尻 7 8 1 - 2 0	甲世衛生組合最終処分場	1987
26	山間	広島中央	東広島市黒瀬町国近 4 2 7 - 2 4	賀茂環境センター (1 工区)	1990
27	山間	広島中央	東広島市黒瀬町国近 4 2 7 - 2 4	賀茂環境センター (2 工区)	2006
28	山間	広島中央	東広島市安芸津町木谷 1 6 2 0 - 1	竹原安芸津最終処分場	1995
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり					

(参考) 表 2-17 その他の施設 (ごみの中間処理施設) 及び処理実績等一覧表

施設番号	市町 事務組合名	所在地	施設名	使用 開始年度
1	呉市	呉市川尻町水落 1 0 1 8 番地	呉東部中継センター	2003
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり				

埋立物						埋立面積 (m <sup>2</sup> )	全体容量 (m <sup>3</sup> )	残余容量 (m <sup>3</sup> )	埋立実績 (m <sup>3</sup> )	埋立終了 年 度 (予定)	浸出水 処理施設	し ゃ 水 工	処 分 場 の 現 状	施 設 改 廃 等	運 転 管 理 体 制
可 燃	不 燃	資 源	そ の 他	粗 大	処 理 残 さ										
	○				○	146,000	3,500,000	947,000	44,600	2019	有	有	埋立中	変無	一部委託
					○	184,000	1,003,010	把握していない	5,862	2011	有	有	埋立中	変無	直営
					○	21,000	146,000	55,485	5,979	2015	有	有	埋立中	変無	一部委託
			○		○	1,627	6,400	54	266	2009	有	有	埋立中	変無	委託
					○	23,000	194,000	158,156	4,620	2017	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	10,700	80,000	39,615	1,601	2011	有	有	埋立中	変無	一部委託
					○	10,100	54,000	40,335	223	2021	有	有	埋立中	変無	委託
			○		○	85,000	628,000	260,766	0	2027	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○	165,000	1,495,000	145,401	11,528	2023	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○	41,000	155,800	10,575	848	2021	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○	3,000	10,700	5,352	19	2030	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	7,200	60,000	47,370	507	2030	有	有	埋立中	変無	一部委託
					○	8,700	75,000	52,789	2,646	2035	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	27,800	149,700	60,467	1,935	2026	有	有	埋立中	能力変更	直営
			○		○	57,000	154,000	95,235	2,269	2023	有	有	埋立中	変無	委託
					○	1,166	7,100	6,027	201	2019	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	18,000	150,000	82,866	1,441	2041	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	3,400	11,400	3,343	239	2013	有	有	埋立中	変無	委託
	○		○		○	30,000	221,000	187,016	1,383	2013	有	有	埋立中	変無	委託
					○	5,400	29,800	0	0	2006	無	有	埋立中	変無	直営
	○				○	6,700	33,000	28,870	339	2015	有	有	埋立中	変無	一部委託
	○				○	13,960	151,949	0	0	2009	有	有	埋立終了	変無	委託
	○				○	15,700	93,000	30,392	756	2020	有	有	埋立中	変無	委託
	○		○		○	1,150	7,600	7,185	115	2019	有	有	埋立中	変無	直営
	○					1,270	3,302	62	13	2015	有	有	埋立中	変無	直営
			○		○	22,500	217,370	0	0	2008	有	有	埋立終了	変無	委託
			○		○	12,000	195,000	146,931	9,875	2023	有	有	埋立中	変無	委託
	○				○	32,000	150,000	92,650	4,410	2025	有	有	埋立中	変無	一部委託
山間 22施設						476,937	5,689,919	2,081,111	83,223						
平地 5施設						293,436	2,289,202	422,831	12,590						
海面 1施設						184,000	1,003,010	0	5,862						
計 28施設						954,373	8,982,131	2,503,942	101,675						

処 理 対 象					公称能力 (t/日)	年 間 処 理 量 (t/年度)	処 理 内 容			施 設 改 廃 等	運 転 管 理 体 制	備 考
可 燃 ご み	不 燃 ご み	資 源 ご み	粗 大 ご み	そ の 他			破 碎	圧 縮 梱 包	そ の 他			
○					30.0	5,235			○	変無	直営	可燃ごみ圧縮施設
計 1施設					30.0	5,235						

## 7 資源化の状況

### (1) 資源化率及びリサイクル率

平成 22 年度の資源化率は 22.1%，リサイクル率は 24.4% で、前年度と比べてどちらも増加した。ごみの処理量が減少したことが要因と思われる。

表 2-18 ごみ処理における資源化率及びリサイクル率の推移

年 度	18	19	20	21	22	全国平均 (平成 21 年度)
資源化率 (%)	21.0	21.7	21.4	21.7	22.1	15.4
リサイクル率 (%)	23.1	23.8	23.6	23.9	24.4	20.5
リサイクル率 (%) (ごみ燃料化量を除く。)	16.1	16.4	16.0	16.4	16.5	19.6

(注) 1 資源化率 (%) = (ごみ資源化量) / (ごみ処理量) × 100

2 リサイクル率 (%) = [(ごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100

3 リサイクル率 (ごみ燃料化量を除く。) (%) = [(ごみ燃料化量を除いたごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100

4 県外分は含まない。

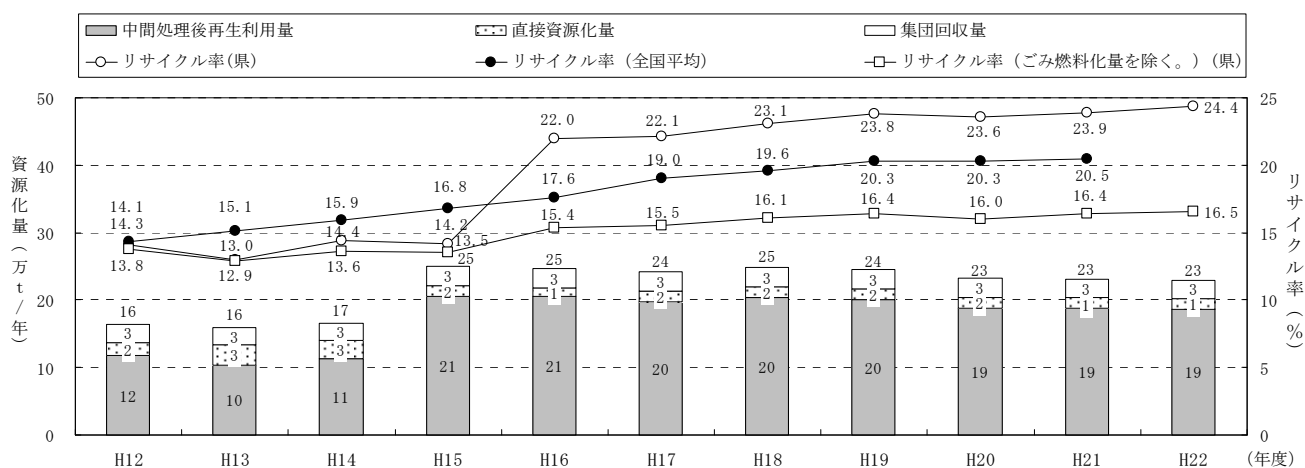


図 2-11 資源化量とリサイクル率の推移

### (2) 種類別資源化量

市町等により収集処理され資源化されたものの種類別資源化量は、表 2-18 のとおりである。

表 2-19 種類別資源化量

(単位：t/年)

紙	金属類	ガラス類	ペット ボトル	容器包装 プラスチック類	布 類	溶融 スラグ	固形燃料	その他	計
34,694	20,008	15,778	4,502	23,639	3,345	11,277	73,811	14,995	202,049

(注) 「その他」には、肥料、焼却灰・飛灰のセメント原料化、BDF等

市町別の種類別資源化量及び一括データは、IV資料編の資料一表 12 及び表 13 に示すとおりである。